

世界災害語り継ぎフォーラム
『イザ！カエルキャラバン！
in ジョグジャカルタ』

2010.3.21

NPO法人プラス・アーツ

楽しみながら学ぶ新しいカタチの防災訓練
『イザ！カエルキャラバン！』



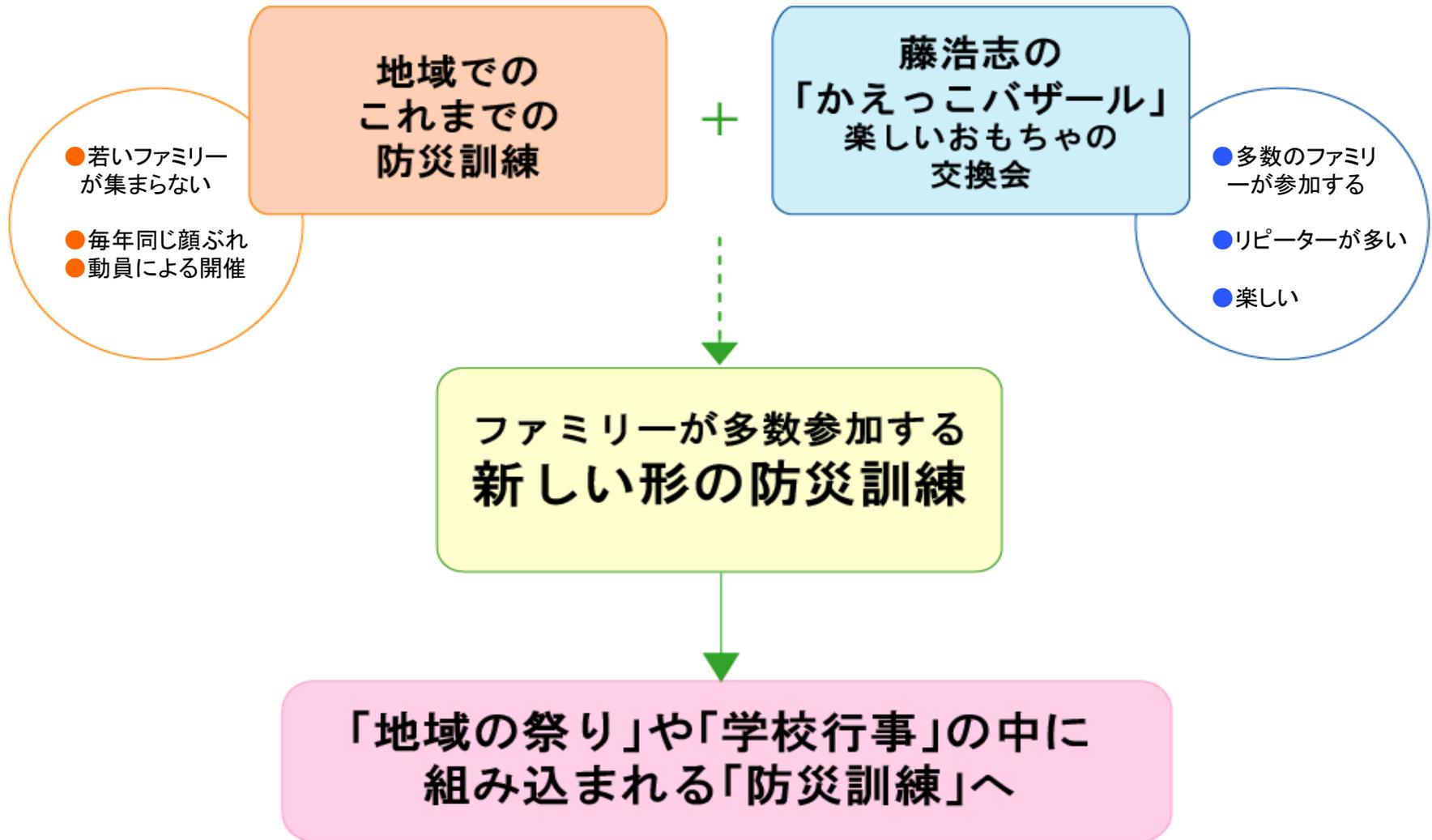
イザ！カエルキャラバンとは

新しいタイプの防災訓練システムです。

- ゲーム感覚で楽しみながら防災を学べる
- たくさんの方が参加する防災訓練
- ファミリー向けの防災訓練



イザ！カエルキャラバンのシステム



イザ！カエルキャラバンのしくみ

①おもちゃを持ってこよう！

Start



いらなくなったおもちゃを「かえっこバンク」に持って行くと「カエルポイント※」に換えることができる。

②好きなおもちゃをゲット！



「ショップ」に行くと換えたポイント分のおもちゃと交換（かえっこ）することができる！

③防災ワークショップでポイントをためよう！

Point!



カエルポイントがなくなったりおもちゃを持ってきていない子どもたちも「防災ワークショップ」を体験することで新たにポイントがもらえる。

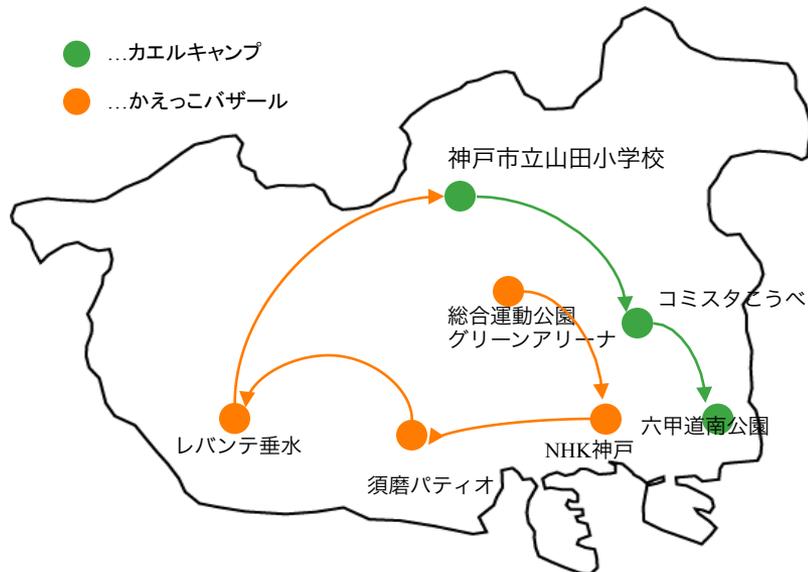
④オークションに参加！

Goal



たまった「カエルポイント」で人気の高いおもちゃが並ぶ「オークション」に参加することができる。

2005年当時の神戸市内での展開と参加者数



神戸市内
7カ所で開催！
合計7,050人の参加

企画の際に行った「防災の教訓」に関する調査



①インターネットによる調査



②震災体験手記を読む



③震災ミュージアムに学ぶ



④語り部のお話を聞く(※167人の声)

新しく開発した防災訓練プログラム



●水消火器での的あてゲーム



●毛布担架タイムトライアル



●ジャッキアップゲーム



●防災体操



●人形劇—おたま劇場—



●持ち出し品暗記クイズ

イザ！カエルキャラバン！ in 神戸 2005～



イザ！カエルキャラバン！in東京・豊洲 2007～



2005年～2009年全国展開の状況



イザ！カエルキャラバン！ インドネシア・ジョグジャカルタでの展

日目



ーイベントそのものを表面的に伝えるのではなく、
イベントが形づくられるプロセスを伝えるー

■背景

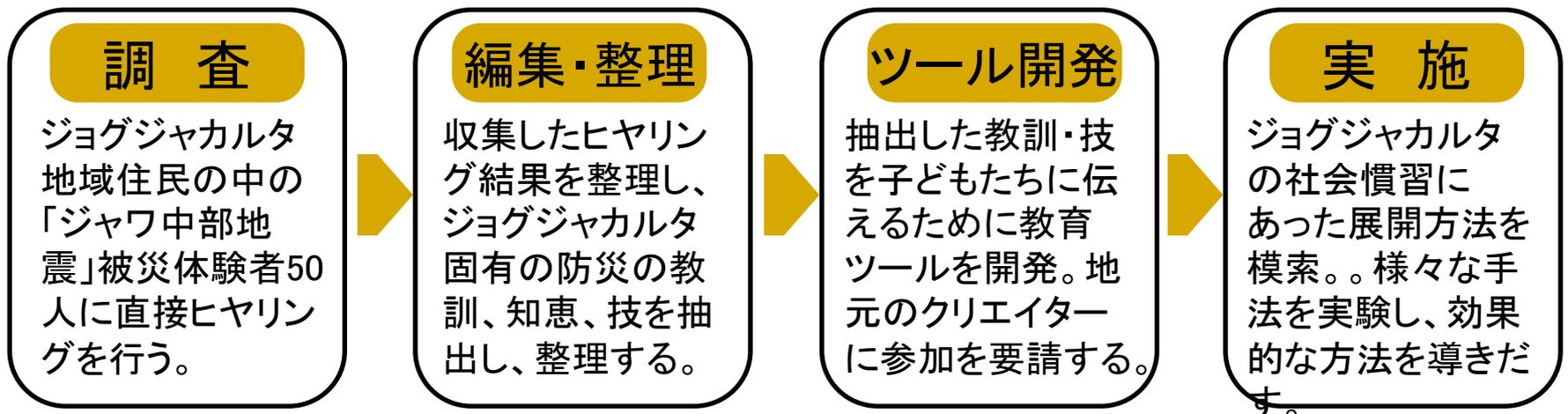
- 2006年5月に「ジャワ中部地震」発生、甚大な被害を受ける。
- 阪神・淡路大震災と同規模の6,000人を越える死者を出す。
- 死傷要因は、耐震補強のないレンガ造建築の普及とその倒壊。
- 震災後、耐震技術の普及、啓発に多数の海外の団体が参加。
- 耐震化が進む地域もあるが、思うように進んでいないのが現状。
- 前回の地震で大きな被害を受けなかった「カウマン地区」など密集住宅地が多く存在しており、ハードだけでなく防災教育・啓発も必要不可欠なのが現状である。



■ 目的

2005年に神戸で開発した「イザ！カエルキャラバン！」のノウハウを生かし、ジョグジャカルタの地域性にあった独自の防災教育システムの開発を現地の大学機関、NGOと連携して行う。
打上げ花火的な一過性のものに終わらないよう配慮し、地域独自で継続可能で、発展的で拡張性のあるプログラムとする。

■ 事業のフロー



■運営組織体制(案):

日本チーム(支援チーム)

- 事務局:
NPO法人プラス・アーツ
(理事長 永田宏和)
(副理事長 藤浩志)
- スーパーバイザー:
鳴海邦碩
(大阪大学名誉教授)
※都市計画分野でのインドネシア調査に多大な実績あり
- ↑
- アドバイザー:
JICA兵庫国際防災研修センター



パート
ナーシッ
プ
(協働作業)

ジョグジャカルタ(現地チーム)

- 事務局:
ガジャマダ大学工学部建築学科
助教授 イカプトラ氏(主担当)
学科長 ヨヨック氏
助教授 シタ氏
+ 建築学科学生
(イカプトラ氏ゼミ生を中心に)
- パートナー:
ガジャマダ大学医学部小児科
教授 スナティニ氏、他
+ 医学部小児科学生
- NGO YGM

■ 2008年3月に実施した被災者ヒヤリング・プレ調査の報告



被災者ヒヤリング調査
の様子
※現地大学生が担当

■ 2008年3月に実施した「イザ！カエルキャラバン！」デモの報告



かえっこバンクも小学生が担当



ショップコーナーは大人気



レジコーナーも同様に小学生が担当



オークションは地元小学校の先生が担当

■ 2008年3月に実施した「イザ！カエルキャラバン！」デモの報告



毛布担架体験



持ち出し品暗記クイズ



バケツリレー



応急手当指導



紙食器づくり



安全な家のイメージの絵を描こう

■ 2008年10月に実施された2回目の「イザ！カエルキャラバン！」の報告

●対決！バケツリレー！



●バナナの皮で食器づくり



●応急手当教室



■ 2008年10月に実施された2回目の「イザ！カエルキャラバン！」の報告

●災害用シェルターづくり



●震災記録展示



●毛布で担架タイムトライアル



■ 2009年11月開催の第3回イザ！カエルキャラバン！に向けた指導者養成講座



大学、NGOのメンバーが講師となり
地元の担い手(リーダー、学校の先生)
にプログラムのやり方をレクチャー

■ 2009年11月開催の第3回「イザ！カエルキャラバン！」 キャラクターのリニューアル

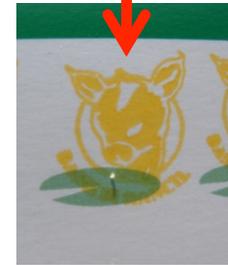


イザ！
カエルキャラバン
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

●キャラクターがカエルからカンチエル(鹿)に



●カエルスタンプが鹿スタンプに



●搬送訓練の人形もカエル人形から鹿人形に

●カエル紙幣が鹿紙幣に



2009年11月開催時にインドネシア版にアレンジされた防災プログラム



バケツリレー



バケツリレー&消火的当て



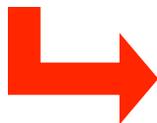
毛布担架体験



竹&サルン担架体験



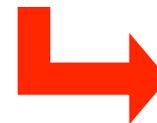
紙食器づくり



バナナの葉食器づくり



防災すごろくゲーム



伝統的なすごろくゲーム

■ インドネシ版イザ！カエルキャラバン！（IKC）の普及、定着の流れ

